

令和4年度 第2回 中ノ町小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年9月7日（水） 10時00分から11時30分まで
- 2 開催場所 中ノ町小学校 会議室1
- 3 出席委員 堀内 秀哲、渡邊 章好、齋藤 誠、瀧 幸仁、佐藤 公治、鈴木 景子、
岡安 智代、木下健太郎、猿田 彩
- 4 オブザーバー 西澤 幸次郎（天竜協働センター長）
- 5 学校支援コーディネーター 堀内 秀哲
- 6 学 校 飯島美智子（校長）、泉澤 優光（教頭）、横山 和美（CS担当教員）
飛永百合子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 協議事項
（1）学校評価について
（2）課題の共有

10 会議録作成者 CSディレクター 飛永百合子

11 会議記録

司会の教頭から、委員9人全員の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。司会から、議長に会長を推挙する旨の発言があり、全員これを承認した。

（1）学校評価について

議長の指示により、横山教諭より学校評価について下記のとおり説明があった。

- ・学校評価でよかった項目1点、よくなかった項目3点を紹介する。

○お子さんは互いの違いやよさを認め、友達を大切にしていますか。

中ノ町小の子供たちは優しい。友達の優しさを紹介するクローバーカードの取り組みを今年度も引き続き実施している。

△自分に身に付いた力に気づき、その力をほかの学習にもいかそうとしましたか。

「身についた力」を意識できるように、子供同士の気づき合いの場を設けたり教職員が価値づけを行ったりする。

△自分のよいところを見付けることができましたか。また、生活をよりよくするために話し合ったり活動したりすることができましたか。

「生き生きプロジェクト」を推進し、思ったことをやってみる活動を支援していく。

△安全に気を付けて生活を送ることができましたか。

廊下階段歩行や遊具の使い方などについて、子供たちからの発信で呼び掛けたり、教職員から話をしたりする。

- ・自由記述欄に多くの意見をいただいた。学年便りで知らせる。
- ・学力学習状況調査についても説明する。

本校は国語・算数の正答率が全国よりやや高く、理科の正答率がやや低かった。

参考に6年生国語問題を一部ご覧いただく。

「児童質問紙」の中で「地域の行事に参加している」割合が多かった。

(2) タブレットによる中ノ町小学校の課題の共有

議長の指示により、校長よりタブレットを体験しながら中ノ町小学校のSWOT分析をしていく旨説明があった。

委員がそれぞれ、タブレットで学校の様子を付箋にして入力する作業をした。大きな画面に、委員全員の付箋が表示された。

各委員より、それぞれの付箋について説明をした。以下のような意見があった。

- ・ヨシや背の高い作物で、通学路としての交通環境がよくないところがある。(渡邊委員)
 - ・「G7 サミット」は子供の自主性を高めるよい取り組みだが、結果的に子供がどのぐらいのびていくかが大切。安全について、校内のヒヤリハットをまとめて紹介するのはどうか。(佐藤委員)
 - ・この方法は、デジタル化した目安箱のようでよい。誰の付箋かわかるのであればいろいろ対応できる。(瀧委員)
 - ・PTAが熱心。積極的に動ける子が少ない。(猿田委員)
 - ・自分の意見を入力するのに集中する時間があるとよい。他の人の付箋は少し時間をおいてから画面に出るとよい。学校アンケートの経年変化もわかるとよい。(木下委員)
 - ・ひとつの表れにもプラス面マイナス面があり、いろいろな考え方ができる。(岡安委員)
 - ・タブレット学習を参観した。高学年で考え方が広まらない子がいたが、画面に出ると広がっていくのかもしれない。低学年ではやり方を教えてあげている子がいた。(鈴木委員)
 - ・中ノ町小の子は挨拶ができる。子ども食堂に来る子供たちが仲良しである。別のことはあるが、自分は支援コーディネーターの研修を受けている。支援コーディネーターとして、まずは課題を知り、必要な支援や活動につなげていきたい。(堀内委員)
 - ・三世代で住んでいる家庭が多い地域で、地域の人が協力的だ。今日は、他にもいろいろ実状を知ることができよかった。(齋藤委員)
- ・本日はタブレットの体験も兼ねていたので時間的にも課題を挙げるところまでとなったが、次回に向けて、もう少し課題を焦点化していけるとよい。(校長)

その他報告事項等

司会から、次回以降の会議は、11月1日、2月14日を予定している旨の報告があった。